

三小タイムズ

令和2年9月17日発行 校長 辻 久恵

理科授業（5年3組）

単元名 植物の実や種子のでき方

学習の目標

植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして解決する。

学習の展開

○前時の振り返り、本時の課題をつかむ

- ・アサガオの花粉は、いつおしべからめしべにつきましたか。
- ・受粉した後は、花はどうなるのかな？

受粉すると、花にはどのような変化が起こるのだろうか。

○根拠を明らかにして予想する。

- ・今まで学習したことや経験したことを基に予想しましょう。

☆しおれる、かれる←花が

☆種ができる←メダカは受精した後にたまごができた。

☆子ぼうが趣旨になる←子ぼうがめしべから出ていたから

☆しおれて実ができる←アサガオの育つ順番を思い出したから

☆しぼんで種ができる←太陽で育つ

○実験方法を考える。

- ・受粉すると起きる変化を調べるにはどうすればよいでしょう。
変える条件と変えない条件を整理して考えましょう。

☆受粉する前におしべをとる。

○まとめと次時の予告。

- ・次の時間は条件を整理してすっきりさせて、実験をしよう。

